

ボートレース丸亀の運営

所感・・・

開場66周年をむかえるボートレース丸亀は、ナイターレースの先駆けである。ナイターレースの整備のために大きな予算をかけて行ったことは当時で言えば素晴らしい英断であっただろう。しかしながら、光熱費に月1000万円かかるのは悩ましいところである。しかも、蓄電等の節電を行っているにもかかわらずだ。この部分を押さえることが出来れば利益もさらに見込まれるように思う。

子ども向け施設や食堂にも力を入れているが、近年どこのレース場もテーマパーク化しており、真新しさは感じなかった。今後に期待すると共に我がボートレース徳山もどこの場にもない遊びの空間が創造されることを期待したい。好調時の今であればこそ次の一手をどんどん打ち出していく必要があるのは業界全体の課題であろう。

また、こちらでは市役所の建設や丸亀城の修繕費に積み立てていた基金を出すなどの市財政への貢献が近年大きかった。このことは大きくアピールし、市全体でボートレース丸亀を盛り上げていかねばというムードを作り出せるのではないだろうか。

徳山においてもモーニングレースが今後増えることが予想され、売り上げに影響があると思うが、様々な手段で周南市の財政、こどもたちのための施策の原資となるように取り組まねばと思う。

- ① 選挙コンシェルジュの取組み
- ② ことばのちからイベント事業

所感 . . .

- ① 投票率の向上は近年どこの自治体も取組みを強化しているが、主だった成果が見える方法がない。大学内に投票所を設置することで大きく注目されたことも最近である。選挙コンシェルジュは若年層に興味を持ってもらうためにはまず第一歩であろう。主権者教育も予算のない中で10回程度開催している点は非常に評価出来るし、生徒会選挙を行ったりすることも非常に面白い。あらゆる方法で、興味や関心を持ってもらえるようにすることは大事であるが、選挙で選ばれた首長や議員の情報発信力の弱さも今の現状を招いている要因であることを忘れてはならない。取組みが投票率に直結することがあまりあるとは言えないが、こういった選挙啓発や主権者教育は今後もしていかねばならないと思う。

- ② 俳句甲子園が有名であるが、その経費は4500万円程度。市が2000万円の補助をしており残りは寄附金等でまかなっている。経済効果も事業費の2倍はあるようでコンベンションの観点からも大きく成功していると思われる。今年は徳山高校が優勝したこともあり周南市でも話題になったし、TVにも取り上げられたことで全国的にも周知されたように思う。そもそもはJCの事業であったようである。また、現在は俳句甲子園のOB、OGが協力し大会運営など非常に助かっている模様。周南市の市名よりもこの世界においては徳山高校、徳山が有名でありシティプロモーションが自然と出来ているように思われ戸惑いを感じた。TV「ぶればと」で有名な俳人にも協力いただきながら継続されていることにはただただ敬服するものである。100回の開催まではというもののこれは可能であるように感じた。

視察報告 丸亀市 平成31年1月16日(水)

視察内容 ポートレース丸亀の運営について

青木義雄

概要

ポートレース丸亀は競艇 24 場において売上高は常にトップを誇る競艇場である。平成 29 年度の実績は、総売上高 885 億 488 万 9 千円で、平成 30 年度も 12 月末で約 657 億円、最終的には 800 億円を超える見込みである。その要因は平成 20 年度にナイトレースを全国で 5 番目、中四国で初の開催をしたことによるもので、最近では下関市がナイトレースを開催して売り上げを一気に伸ばしたことからも、その効果は大きい。チケットショップも好調である。

所感

ポートレース丸亀の売上高が巨額なのは、四国全域からの競艇ファンの受け皿になっている点にある。近隣では高松市に競輪があるようだが、全体的に競馬・競艇が好調なのに対して、競輪・オートは非常に厳しいといわれている。今年度は、鳴門競艇もモーニングレースを開催したが瀬戸内海側の中心にあり、本州との玄関口に近く、交通網の良さや周辺の都市構造などから多くのファンを引き寄せていると思われる。そのため巨大な駐車場を有している。徳山競艇とは瀬戸内競艇の協力場として、さらなる連携強化が不可欠である。

視察報告 松山市 平成31年1月17日(木)

視察内容 選挙コンシェルジュの取り組みについて

青木義雄

概要

松山市では投票環境の向上の取り組みとして、2013年参院選から松山大学のキャンパス内に期日前投票所を開設した。その結果として20代前半の投票率は13年参院選が2.27ポイント、14年市議選は0.63ポイントそれぞれ上昇した。この広がりには3年間で全国98か所に広がった。選挙コンシェルジュとは選挙啓発に熱意のある個人の集まりで、選挙管理委員会との会議や勉強会を通じて、選挙の知識や企画力を持ち、主体的に啓発活動を行うとしている。コンシェルジュとは案内を意味する。松山市では学生であること、政治的中立であることを条件としている。また選挙クルー（投票率向上に協力してくれる団体）の支援や協力によりさまざまな選挙啓発を行っている

所感

全国に先駆けて大学キャンパス内に期日前投票所を開設したことは、その後の大学内やショッピングセンター内の設置普及に大きな役割を果たした。若者の投票率向上は、当事者である若い人によるものが効果的と思うが、それは一気に改善されるものではなく、継続して粘り強_く取り組むことが肝要である。

視察報告 松山市 平成31年1月18日(金)

視察内容 ことばのちからイベント事業について

青木義雄

概要

松山市では2000年に松山市ならではの歴史や文化を活かしたまちづくりを展開しようと17%の市民からなる「21世紀イベント委員会」を立ち上げた。その中から「ことばのちから」をキーワードとした事業の提案がなされ、それを受けて事業実施主体である「ことばのちから実行委員会」が立ち上がり、市の文化・ことば課が支援するという体制が構築され、ことば事業がスタートした。そうした中から俳句甲子園が生まれ、平成30年度で第21回を重ね着実に成果あげている。

所感

平成30年の第21回俳句甲子園は周南市の徳山高校が過去10回の優勝を誇る絶対的優勝候補の東京都開成高校を決勝で破り初優勝するというニュースは山口県でも大々的に報道された。その舞台裏や事業の経緯を知りたくて今回の視察に至った。経済波及効果は事業費に対して2.1倍という愛媛銀行が算出しているが、それ以上に高校生がもつ情熱やひたむきさが商店街という舞台上で発露される意味は活性化も含めて大きい。決勝はホールで行われるが立ち見が

出るほどの状況であるという。周南市でも周南市のオリジナルな歴史や伝統をいかしての高校生などの若い層を取り込んでいく事業を積極的に展開していくべきである。徳山高校では文化祭で「ぶちかまし討論会」が伝統的に行われている。これをヒントに、

「ぶちかまし甲子園」を周南市で行うことを提案する。

会派視察〈丸亀市〉
質問・答弁及び所感

佐々木 照彦 議員

視察事項 ポートレース丸亀の運営について

問

答

問

答

所 感 開場 66 周年を迎えるポートレース丸亀は、平成 22 年にナイター照明施設整備を行い、21 年から全レースをナイター開催している。整備に 23 億円ということであるが、先駆けて行った場であるのですごいと思う。スタンドも 7 年前にリニューアルされてきれいになっている。思いのほか本場に客が来ているので、びっくりした。駐車場も 2000 台以上あり、日ごろの努力のたまものか。一般客を呼び込むイベントや子供向けのわんぱくランド棟、カフェや食堂等にも力が入っていると感じた。また、外向けよりも本場を大切にし、お客の目線を大事にしているように感じる。しかし、光熱費が月に 1000 万円かかる。本場を大切にすることが故のところもあるので、省エネ対策が難しいところである。

ナイターの競合や女性・次世代の客層の獲得などどこも共通する課題は、同じであるが、地域に開かれたポートレース場を目指しているように思える。また、この度、市役所の建設や城の改築のため、多くを市に繰り入れるなども行っている。

お互い良いところを取り入れて協力できるところは協力し、市民に愛される競艇場として成長して行ってほしい。

会派視察《松山市》
質問・答弁及び所感

佐々木 照彦 議員

視察事項 選挙コンシェルジュの取り組みについて

問 商業施設の期日前投票所設置は、すべての選挙において実施しているのか。

答 市議会議員選挙においても実施している。商業施設で、居住区のアンケートは実施していないが、地域が偏った有権者の投票にはなっていないと思っている。

問 18歳、19歳の投票率アップが、全国的に課題であるが、大学、専門学校以外に、企業に対する働きかけはしているのか。

答 企業に対する出前講座などは行っていない。課題だと思っている。

所感 選挙の投票率を上げるというのは、どこの町でも大命題である。特に若年層の投票率アップが課題である。そこに果敢に取り組んでいるのが松山市であるとおもう。若者が数多く集まる身近な場所に投票所を設ける。利便性を徹底的に追及するということからスタートしている。

選挙コンシェルジュの取り組みは、選挙啓発を通じて、特に若者層に選挙に興味を持ってもらう。選挙管理委員会の負担を軽減する上でもユニークな取り組みだと思う。主権者教育の一部を代わりに行ったりするときにも、若者の感覚が取り入れられるなどわかりやすく、食いつきやすいものとなるだろう。

28年には主権者教育を年10回程度開催、また、中学校の生徒会選挙のプロデュースするなど少ない予算の中で努力をしている。

選挙の投票率アップは、こういう取り組みをしている松山市でさえも苦戦をしている。有権者の意識を変えるために地道な努力が必要であるし、政治家にもその責任の一端がある。選挙コンシェルジュの取り組みは、選挙啓発などの取り組みを通じて、参加した学生が成長する姿が支えになっているようにも思えた。

会派視察《松山市》
質問・答弁及び所感

佐々木 照彦 議員

視察事項 ことばのちからイベント事業について

問 俳句甲子園の事業費が4000万～4500万円ということであるが、市が2000万円
残りは、寄付や協賛ということか。

答 参加費と協賛、その他クラウドファンディングもある。協賛は、100万～数万
まである。

問 交流人口と経済効果は。

答 経済効果は、愛媛銀行が進んで出していて、事業費に対して2.1倍。交流人口
は、参加者が約300人。その他スタッフ、審査員、マスコミ等が650人程度。
会場の大街道商店街には、8000～10000人が、パブリックビューイングは、半日で
4000～5000人が訪れる。

所 感 ことばのちからイベント事業は、街はことばのミュージアム、群読コンク
ール、俳句甲子園から成り、「ことばのちから」でまちづくりを推進している。

町中にことばが溢れ、行政と町が一緒に取り組んでいることが窺える。特に俳句
甲子園は、メディアにも乗り絶好調ということであるが、ここまでに至る努力は
大変なものがあったであろうし、驕ることなく俳句という文学を介して地域や世代
を超えた交流や豊かな人間性を育むことを目的に取り組んでいる。100年150年続
く大会を目指していることもあり、地元の理解やOB、OGの協力、全国的なネットワ
ークなど第1回目の大会が9校9チーム県内のみの参加で行われたとは思われない
成長ぶりである。そのような背景の中、21回大会で徳山高校が優勝したことはすご
い。周南市よりも徳山高校の名前の方が有名になってしまった。

群読コンクールも良い取り組みなのだが、参加校・グループが減少し課題が残る。

周南市も交流人口増加のため、素材を活かした取り組みを模索して欲しい。

委員会行政視察《丸亀市》
質問・答弁及び所感

長 嶺 敏 昭 議員

視察事項 モーターボート競走事業について

問

答

問

答

問

答

所 感 平成 21 年 4 月から中四国では初の全レースをナイトー開催して、優良な売り上げ成績を誇るボートレース場である。29年度はSGオーシャンカップの開催で116億円の売り上げがあり、年間では885億円余りの売り上げ実績があったようである。今年はナイトー開設10周年ということで、子供向け、若者向けの様々なイベントにも力を入れている。このことについては徳山ボートのほうが先進的だと話されていた。

施設は7年前にリニューアルして、3k（汚い、暗い、怖い）のイメージの払拭を図ってきた。売上余剰金は、これまであまり一般会計に繰り出さず、内部留保金として積み立ててきた経緯があり、220億円もの留保資金があるとのことだが、この程、丸亀城の災害による石垣の大規模崩落の復旧にこの資金を充当するという決定がされたようである。

委員会行政視察《松山市》
質問・答弁及び所感

長 嶺 敏 昭 議員

視察事項 松山市選管の取り組み（選挙コンシェルジュ他）について

問

答

問

答

問

答

所 感 松山市では、政治に関心を持ち投票率向上のために様々な事業展開をし、成果を上げている。1つには、全国初の大学構内に期日前投票所を設けたことにより20代前半の有権者の投票率が向上した。このことからその後3年間で全国98か所の大学に投票所が設置された実績につながった。また、参画型PRとして、選管、高校生、専門学生、大学生、NPOで選挙コンシェルジュ・クルーを創設して、デザインチーム、子育て世代ターゲットチーム、学生ターゲットチームなどのチームに分かれて、選挙啓発活動を展開している。参画する若者は、公務員志望の子供が積極的のようである。ともあれ、一番肝心なことは、やはり主権者教育であるとの結論であった。

委員会行政視察《松山市》
質問・答弁及び所感

長 嶺 敏 昭 議員

視察事項 言葉の力でまちづくり（俳句甲子園他）について

問

答

問

答

問

所 感 正岡子規の生誕の地、松山市は第6次総合計画の中に、「ことば」文化の内外発信を掲げ、「坊っちゃん文学賞」「俳句甲子園」「俳句ポスト」「ことばのちからイベント」などを展開していく中で、松山市ならではの「ことば」の文化の浸透を図っている。中でも「俳句甲子園」は全国の地方大会を勝ち抜いた高校生チームが8月に松山市に一堂に会し、俳句の技を競う一大イベントに成長した。予選は市内商店街で公開し大勢の人で賑わう。決勝リーグは、総合コミュニティセンターで行われ、パブリックビューイングも行われる盛況である。予算は4,000万円から4,500万円で、市からは2,000万円、他は企業協賛金で賄っている。出場する高校生役300人だけでなく、家族やOB、OGも全国からやってきて交流人口増に貢献しており、経済効果は8,200万円と推計している。テレビでお馴染みの俳人、夏井いつき先生もご当地人で、当初から参画されており、絶大な存在となっている。徳山高校は常連校で平成30年の優勝で周南市の知名度が一段と上がっている。これぞシティ・プロモーションだと思った。

質問・答弁及び所感

福田 文治 議員

視察事項 ポーとレース丸亀の運営について

問

答

問

答

所感

丸亀競艇は昭和27年10月に全国で6番目の競走場として開催、20数年前から

公営ギャンブルの低迷により全国競艇の売り上げも1兆円を割る時代が数年続いたが日本財団、競走会、施行者等の危機感から組織見直し、改善を実施し振興会が設立されオラレ、ポートピア、ポートルースチケットショップ等を展開、ナイターレース、モーニングレース等の開催と様々な取り組み、又電話投票の伸びにより売り上げも1兆円を超えた。

丸亀競艇に置かれても売り上げ低迷時存続の危機おも囁かれていたが、競艇事業の基金を60~70億円を所持し施設の改善、特に平成21年4月から開催した中四国初の全レースナイター開催により一気に売り上げが1.5倍に伸び瀬戸内競艇6場のなかで起死回生の売り上げを伸ばし「丸亀競艇独り勝ち」となっていた。

収益増により施設改善も計画的に取り組みられ本場のスタンド棟、駐車場棟、外向発売所（Bポートまるがめ）の建設、家族づれのためにわんぱくランド棟、来賓、グループ向けのカラオケ施設ありのROKUまるがめなど入場者アップの取り組みをしっかりとっている。徳山競艇も将来を考え新たな取り組みを期待したい。

会派行政視察《H31.1.17》
質問・答弁及び所感

福田 文治 議員

視察事項 松山市 選挙コンシェルジェの取り組みについて

問

答

問

答

所感

松山市選挙管理委員会は投票率の低下、市民に政治に参加して頂くため若年層の投票率向上のため学生を「選挙コンシェルジェ」に認定。学生の意見を取り入れ、選挙CMの作成や啓発物資の企画、配付などを行い、それらの活動を選管フェイスブックや自身のSNSで拡散、選管のイメージを変えることで進化する選管を体現して行った。

投票環境の向上については1. 若者が集積する場所に投票所を設ける、大学内期日前投票所。2. 選挙コンシェルジェの募集選挙啓発に意欲のある個人の集まりで選管との定期的な企画会議や勉強会を開催し選挙に関する高い知識と企画力を持った選挙啓発のセミプロを養成、全て学生であり選管、高校生、専門学生、大学生、NPOの集団。2~30名のグループでチームに分かれ選挙クルーを立ち上げ企画の多様性と実行力を担保し主権者教育で意識を変える。視覚・聴覚に訴える。投票体験を皆で共有するなどし「投票率が自分のまちを変える」意識を植え付け投票率の向上につなげた、選管の投票率アップに真剣に取り組んだ結果の賜である住民、学生の選挙に対する根本的な事を粘り強く周知し、行動を起こすべきである

会派行政視察《H3 1. 1. 17》
質問・答弁及び所感

福田 文治 議員

視察事項 松山市 ことばのちからイベント事業について

問

答

問

答

所感

松山市は 21 世紀新たな 100 年のスタートを迎え松山ならではの歴史や文化的な風土を活かした「ひとづくり」・「物づくり」・「コトづくり」を展開しようと、デザイナー、アーティスト、俳人、冒険家など 17 名の市民からなる「21 世紀イベント委員会」を立ち上げた。「ことば」は人々に感動を与え繋げる大切なツールであり正岡子規をはじめとする先人たちが残した「ことば文化」を融合させることにより新たなまちづくりの第一歩を踏み出せるとした。「ことばのちから実行委員会」を立ち上げた。2000 年「だから、ことば大募集」を実施全国募集し 12,001 点の作品が集まった。2,004 年市内の子供から「愛大好きな〇〇へ…」をテーマに募集 7,853 点 2010 年「絆」をテーマに全国募集 12,200 点の作品が寄せられた。全国募集の作品を街中、バス、空港に掲示しコンベンションに寄与している。

2018 年徳山高校が全国優勝した俳句甲子園テレビ番組でも有名な夏井いつき先生が松山出身ということで毎年松山市で開催され経済効果 8,200 万円とのこと物ではなく「人が金を生む時代」を肝に銘じ、地の利を生かしたまちづくりに緻密な計画、大胆な行動で将来の周南のため市民上げての取り組みが大事である。

【丸亀市競艇事業視察所感】

1. ナイターレースについて

(1) メリット：売り上げの増加

(2) デメリット：夜間照明のための電気代等の経費の増加

(3) 評価：費用対効果や今後ナイターレースを新たに始める場が増えていけば相対的に1場当たりの売り上げ増の効果も小さくなることを考えれば、モーニングレースで既に一定の成果を上げているボートレース徳山が新たに設備投資をしてナイターレースを始める必要性はないと考える。

2. スタンドのコンパクト化について

電話投票の占める割合が大きくなっている状況では、かつての豪華・巨大なスタンドは無用の長物であり、スタンドのコンパクト化は時代の流れと言えよう。

3. キッズルームについて

真新しい立派なキッズルームが整備されていたが、果たしてそれだけの費用をかけて整備・運営するだけのニーズがあるのか疑問があるし、そもそも、若い夫婦が休日に幼い子供を預けてボートレースを心置きなく楽しみたいというニーズに応えることは本当に正しいことなのだろうかという根本的な疑問がある。

【松山市投票率改善策所感】

1. 大学構内への期日前投票所の開設

確かに、大学構内への期日前投票所の開設は、一定程度、大学生の投票率改善に資することは間違いないだろう。ただ、自宅から通学している学生は、自宅近くの投票所で投票することができるのだから、それほどドラスチックに利便性が向上するわけではない。問題は、親元が遠くでありアパートや寮から通学している学生である。住民票を移転していれば大学構内に投票所があれば投票率向上に直結することは疑いないが、これらの学生の殆どが住民票は移転していないので、投票所は親元にあり、結果として選挙権は行使されないこととなる。

従って、大学生の投票率の改善のために最も効果的な施策は、自宅通学以外の学生に住民票を現住所に移してもらうように働きかけることである。

2. 選挙コンシェルジュ

この選挙コンシェルジュは、若者の政治参加への意識を高め、投票率向上のための有効なツールになるものと評価できる。

3. 投票率向上は必要なのか？— 主権者教育の意義 —

ところで、行政による投票率向上施策は本当に必要なものであろうか。チャーチルは「民主主義とは、これまで歴史上に存在したあらゆる政治形態を除けば、最悪の政治形態である」という言葉を遺しているが、政治意識の低い有権者の投票率が向上すれば、衆愚政治に陥るリスクが高くなる。適切な主権者教育を伴わない単なる投票率向上施策は、決して正しい民主政治を実現することにはならないことを肝に銘じるべきである。

【松山市ことば関連施策 所感】

1. ことばのちからイベント事業
2. "ことばのがっしょう"群読コンクール
3. 俳句甲子園

これらの言葉関連事業は、市の行うソフト事業の最高のお手本と言うべきものである。「俳句甲子園」については、周南市がまねのできる事業ではないが、「ことばのちからイベント事業」については、その基本的な考え方や手法には普遍性があり、周南市も、シビックプライド醸成を目的とする新たな事業を企画するに際しては大いに参考にすべきである。